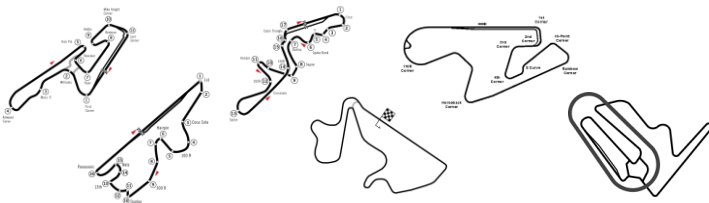
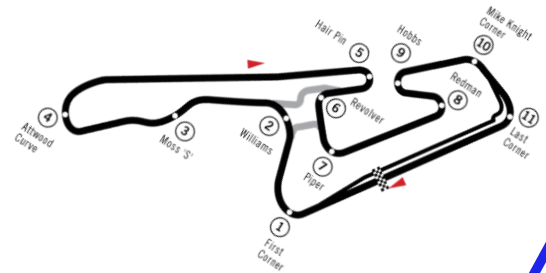


FIAF4 第1戦・第2戦 岡山国際サーキット

- 開催日: 4月10日～14日
- 開催場所: 岡山国際サーキット
- 天候: 10日 雨・11～13日 晴れ・14日 曇り
- 路面: 10日 ウェット 11～14日 ドライ
- 参加台数: 32台



Team Principal: Masashi Kawaguchi
 Secretariat: PECORA INC.
 Driver: Iori Kimura
 Mechanic: Kazuya Tachi / Shouma Tachi

若手ドライバーが切磋琢磨するモータースポーツの甲子園として、国内定着を果たしたFIA-F4選手権。今年も岡山国際サーキットで4月13～14日に開幕、5年目のシーズンを迎える。その注目の開幕大会のエントリーは32台と、昨年よりも増加。今年もFIA-F4選手権でも複数年の経験を持つ強豪ドライバーと、活きの良いルーキードライバーの登場により、過去のシーズンに引けを取らない激戦が展開されそうだ。開幕ラウンドで好スタートを切ったドライバーがそのままシリーズの中心となることはひとつのパターン。いったい誰が、このラウンドを制するのか注目されている中の開幕戦であった。

【スケジュール】 [SCHEDULE]

2019 FIA F4 選手権 第1/2戦 岡山大会タイムスケジュール

4月10日	F4 プライベートテスト
4月11日	F4 プライベートテスト
4月12日	OTG FIAF4 トレーニング①
	OTG FIAF4 トレーニング②
4月13日	公式予選
	FIAF4選手権 第1戦 決勝 (15 LAPS)
4月14日	FIAF4選手権 第2戦 決勝 (15 LAPS)

■ F4プライベートテスト

4月10日-----

この日は1日中ウェットコンディションでの走行になりました。自分のフォーミュラマシンの経験の中ではレインでの走行というものは殆どなく、チーム自体もレインでのベースセッティングデータが無いこともあり、マシンのセッティングを仕上げつつ自分の走りを色々と改善して行こうと試行錯誤して参りました。しかし、トップとのタイム差は4秒、焦りも出てしまいクラッシュによって初日の走行を終えることになってしまいました。

4月11日-----

昨日とは変わり天候は晴れ、路面はドライでの走行になりました。しかし昨日のレインでの走行からマシンのバランスに違和感を感じており、車に対して自信を感じれない中での走行になりました。セッティングも変えれば変えるほどバランスが悪くなり、タイムも安定せず、途方に暮れてしまう状態でした。しかし、夜ホテルでデータロガーを確認しながら原因を突き止め、エンジニアとも深く話し合いセッティングの方向性を変えてみるので車は良くなると感じました。



OTG FIAF4 トレーニング

1回目 75分間

前日の夜にエンジニアと試したセッティングを試してみつつ、

翌日の予選の為にシミュレーションを行いました。

マシンのフィーリングとしてはまだまだ足りない部分も多くありましたが、ひとまずバランスが安定するようになり、コーナリングやブレーキングでのマシンコントロールが出来るようになったので良かったと思います。そして順位も9番手と目標としているシングルに入れたので良かったです。

2回目 75分間

マシンのセッティングをもっと高いスピード域で曲がれるように変更し、2回目のテストに挑みました。途中マシンのフィーリングを掴んでからニュータイヤに変更し走りようと考えておりましたが前の車両のクラッシュに巻き込まれコースアウト。車体の清掃に時間がかかり思うようにマシンの動きを感じ取ることが出来ませんでした。しかし、走行時間も刻々と迫っている中ユーズドで再び走るのはいかなる意味もないと判断し、ニュータイヤを入れてアタックすることにしました。

まだマシンの感触に違和感がありましたがアタックラップが上手く決まり6番手タイムを記録。予選に向けていい感触を掴めました。

FIAF4 岡山大会 公式予選

週末にかけてかなりの冷え込みを見せていた岡山国際サーキット。しかし、前日に比べればやや寒さも和らいだ感のある4月13日(土)、午前8時05分から、いよいよ今季最初の公式予選セッションが30分間で行われた。

まずまずの晴れ間が広がる中、31台のマシンがコースイン。まずは上位陣は1分37秒台に突入。さらに午前8時10分を過ぎると、他のライバルたちが続々と好タイムを記録順位が目まぐるしく変わる。その1分後、この上位陣に木村偉織が1分35秒625で4番手に食い込んだが、直後に計測4周目に入った上位陣が33~34秒台に突入し、さらに木村偉織も34秒台にタイムを上げ、早くも僅差の攻防となっていく。しかし、計測5周目に入るとさらにタイムは上がり、午前8時13分に33秒前半のタイムを記録したライバルがトップに浮上。これにライバル勢、木村らが続くが、すぐさまラップタイムは更新された。開始から10分が経過した時点でのトップ6は太田、三宅、佐藤蓮、菅波、木村、平木というオーダーに。しかし、その直後に最終コーナーでスピンした車両が縁石付近で立ち往生してしまい、赤旗が提示されることに。残り時間が既に4分を切っていたこともあり、そのままセッションは赤旗終了、終盤中々ペースが上がらなかった木村偉織は第1戦9番手・第2戦8番手スタートとなった。

Driver's voice

気温が低く中々タイヤが温まらず序盤はアタックするのに苦戦しました。

途中タイヤがオーバーヒート気味になってしまいクーリングする為に1周ペースを落としましたがかえってタイヤが余計に冷えてしまいこれのリカバリーをするのにも時間がかかってしまいました。

再びタイヤが温まりアタックを始め、順位もタイムも徐々に上がって来ており一番いい状態の周に赤旗が出てしまいとても悔しかったです。

しかしこれもレースなので午後に行われる開幕戦に向けて気持ちを切り替えて頑張ろうと思いました。

FIAF4 第1戦 岡山大会 [7位]

ピットウォーク終了後、午後1時40分にフォーメーションラップがスタートした2019FIA-F4選手権の開幕戦。31台のマシンがいよいよ今季最初の戦いに臨む。

1周のフォーメーションラップを終えた午後1時44分、レッドシグナルが消灯。上位陣は各車まずまずの動き出しを見せ、トップ6は予選順位のまま大きく順位を変えることなく1コーナーへ。

上位陣はそのままのオーダーで1周目を終えるかと思われたが、木村偉織が前の車をヘアピンコーナーにてアウト側からパス順位を1つ上げた。しかしその後のダブルヘアピンでは他車のスピンなどによって混乱が発生、再びライバルに追い越され順位を戻してしまった。その後はライバルのバンクによるリタイヤや接触によるスピンやクラッシュなど波乱の展開となった。ところが波乱はこれに留まらず前を走る2台が接触し1台がコースアウトしリタイヤ、もう1台はペナルティにより順位を落とし木村偉織は7番手につける。その後は波乱なくレースは終わり木村偉織は順位を2つ上げてフィニッシュし、シルバースターレーシング最高成績を収めた。

Driver's voice

スタートで失敗し後続の車に並ばれてしまっていましたでしたが、その後は前の車に追いつき抜かすことが出来ましたのでスタートのペースは非常に良かったです。しかしその後のダブルヘアピンではイン側を十分に締め切らずに開けてしまったところを突かれて順位を落としてしまったのが今回の1番の反省点です。またレースペースも思うほど伸びずタイムもよくなかったので翌日の第2戦では1周たりともミスせずに走り抜け、自分の実力で順位を上げてフィニッシュしたいと思いました。



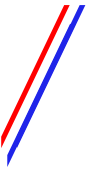
FIAF4 第2戦 岡山大会 [4位]

どんよりと曇った空から、時折ポツリ、ポツリと雨粒が落ちてくるものの、なんとか本降りにならぬまま持ちこたえ、ドライコンディションで迎えた第2戦のスタート進行。ウェット宣言が出されるも、全車がスリックタイヤのまま午前8時20分にフォーメーションラップがスタート。ポールポジションの車両がスタート手順を違反したためスタートディレイ。このため1周減算され14周の戦いとなった第2戦決勝は、午前8時32分にスタートとなった。木村偉織はスタートで2つ順位を上げ、1周目を終えたトップ5は佐藤、三宅、菅波、野中、木村偉織、というオーダー。上位陣に大きな順位変動のないまま2周目を終え、3周目に入ったところで後続でクラッシュが発生。マシンを回収するためにセーフティーカーが導入されることとなった。このセーフティーカーランは8周終了時までつづけられ、9周目にリスタート。

木村偉織はスタートに失敗し前車から離されてしまい、後続の車両からのアタックに耐える形となってしまった。レース終盤、4台での接戦となった4位争いは、木村偉織が逃げ切りを果たし、見事FIAF4参戦2戦目、シルバースターレーシング最高順位を更に更新し4位でフィニッシュとなった。

Driver's voice

私たちのマシンはレースペースや戦闘力に欠けるところがあり、チャンスはスタートのみ。気温が物凄く低くタイヤの温まりが悪い状態だったのでフォーメーションラップでタイヤを温めることだけ、そしてスタートで1台でも多くの順位を上げることにのみ集中致しました。その結果スタートを上手く決め順位を2つアップ、展開にも恵まれ4位でフィニッシュすることが出来ました。しかしSC後のスタートに失敗し後半は防戦一方の情けないレースをしてしまったので、終始プレッシャーをかけ続けられるようにSCというチャンスをもっと活かしたいと思いました。



■ 次戦にむけて 反省点・まとめ

まずは、シルバースターレーシング代表・関係者の皆様、スポンサー各社様、IORI SUPPORTERSメンバーの皆様、普段の日常生活でサポートして頂いてる家族、この度はレースに挑戦するチャンス下さり本当にありがとうございました。



今回のレースではプライベートテストでのタイムが極端に悪く、自分自身で凄く気持ちが焦ってしまった部分がありました。その影響によりクラッシュしてしまいメカニックさんに余計な仕事を増やしてしまったり、予定していたプログラムを消化しきれずに終わってしまったりしてしまいドライバーとして申し訳ないことをしてしまったと同時に迅速な作業をしてくださったメカニックさんに感謝の気持ちを伝えたいです。

そして決勝でも言えているのですが、特に予選では更にタイヤを理解しなくてはいけないと感じました。どのくらいで温まり、どのくらいで冷えるのか、天候や気温、コースの路面によっても大きく変わりますがこの点を理解しなければ常にベストな状態でアタックが出来ません。もっともっと勉強しなければと思いました。



またレースに関しては前車に近づくことによりマシンのバランスが変わり、自分の走りが出来なくなった時に焦ってミスをしてしまったり、逆に後続の車両からプレッシャーを受けるときにもミスをしてしまったり、とレースペースが本来の80%くらいでしか走れない点についても反省したいと思います。対策としてはシミュレーターにてレースシミュレーションを行い自分のメンタルを強化して行きたいと考えております。

そして次の富士の為にセッティング面の勉強も更に取り組んで参りたいと思います。これからも応援宜しくお願い致します。

次大会は5月3・4日ゴールデンウィーク真っ最中の富士スピードウェイ。
日本屈指の高速サーキットである富士では、FIAF4シーズンの中でも首都圏から最も近いサーキットの中の1つであることもあり毎年多くの観戦客が訪れる。どのような活躍を魅せてくれるのかチーム一同期待したい。応援よろしくお祈りします。



FIA-F4専有
OTG F4トレーニング①

スタート時間 : 8:45:00
チェック時間 : 10:00:08

順位	車番	区分	順	ドライバー	モデル	車名	タイム	Km/h	周回	トップ差
1	7			佐藤 蓮/R. SATO	DOME F110	SRS/コチラレーシング	1'32.769	143.699	17/26	
2	36			野中 誠太/S. NONAKA	DOME F110	FTRSスカラシップF4	1'32.776	143.688	19/34	0.007
3	6			太田 格之進/K. OHTA	DOME F110	SRS/コチラレーシング	1'32.836	143.595	23/25	0.067
4	5			三宅 淳嗣/A. MIYAKE	DOME F110	HFD/コチラレーシング	1'32.927	143.455	11/28	0.158
5	60			菅波 冬悟/T. SUGANAMI	DOME F110	OTG DL F110	1'32.967	143.393	7/27	0.198
6	24			平木 玲次/R. HIRAKI	DOME F110	Media DoADVICS影山F110	1'33.041	143.279	7/29	0.272
7	62			神 晴也/S. JIN	DOME F110	DENSO ルポーセ JPM F4	1'33.137	143.131	7/31	0.368
8	39			岡本 大地/D. OKAMOTO	DOME F110	SACCESS RACING F4	1'33.164	143.090	15/31	0.395
9	20			木村 偉織/IKIMURA	DOME F110	Silver Star Racing	1'33.331	142.834	15/33	0.562
10	63			川合 孝汰/K. KAWAII	DOME F110	DENSO ルポーセ IPG F4	1'33.406	142.719	15/27	0.637
11	9			塩津 佑介/YSHIOTSU	DOME F110	ATEAM Buzz Racing	1'33.472	142.618	15/28	0.703
12	37			平良 響/H. TAIRA	DOME F110	FTRSスカラシップF4	1'33.537	142.519	22/30	0.768
13	11			石崎 竜一朗/R. ISHIZAKI	DOME F110	Rn-sports 制動屋 F110	1'33.647	142.352	33/33	0.878
14	25			堀尾 風允/F. HORIO	DOME F110	SAMURA!サポーターズ F4	1'33.651	142.346	32/32	0.882
15	77			大井 偉史/T. OHI	DOME F110	WARTECH SkillSpeed	1'33.653	142.342	27/32	0.884
16	80			大竹 将光/M. OHTAKE	DOME F110	OTG DL F4CHALLENGE	1'33.734	142.219	13/32	0.965
17	30	I	1	DRAGON/DRAGON	DOME F110	TEAM DRAGON F4	1'34.011	141.800	21/31	1.242
18	2	I	2	仲尾 恵史/K. NAKAO	DOME F110	TCS Racing Team	1'34.076	141.702	10/22	1.307
19	31			三枝 拓己/T. SAIGUSA	DOME F110	RiNoA Racing project	1'34.109	141.653	21/31	1.340
20	10	I	3	堀田 誠/Y. HOTTA	DOME F110	アドヴィックスムータレーシング	1'34.161	141.575	23/33	1.392
21	3	I	4	佐藤セルゲイビッチ/S. SATO	DOME F110	結婚の学校 フィールドモータースポーツ	1'34.268	141.414	16/26	1.499
22	73			堀 瞬佑/S. HANAWA	DOME F110	カローラ新築城レオンキッズレーシング	1'34.311	141.349	33/33	1.542
23	28	I	5	齋藤 真紀雄/M. SAITO	DOME F110	CS Marketing ES	1'34.341	141.304	17/19	1.572
24	98	I	6	IKARI/IKARI	DOME F110	TOEI BJRacing F110	1'34.470	141.111	16/28	1.701
25	86	I	7	大阪 八郎/H. OSAKA	DOME F110	COLLET F110	1'34.993	140.335	16/23	2.224
26	43	I	8	吉田 基良/M. YOSHIDA	DOME F110	ZAP SPEED F110	1'35.057	140.240	15/27	2.288
27	40			ブッビオン ティアラウエート/T. PUPPICON	DOME F110	SACCESS RACING F4	1'35.077	140.211	18/32	2.308
28	16			渡辺 大祐/D. WATANABE	DOME F110	Media DoADVICS影山F110	1'35.185	140.051	6/9	2.416
29	71	I	9	大山 正芳/M. OYAMA	DOME F110	ダイワN通商/NAGISA AUTO	1'35.689	139.314	27/28	2.920
30	27	I	10	SYUJI/SYUJI	DOME F110	B-MAX ENGINEERING F4	1'36.182	138.600	18/28	3.413
31	23	I	11	YUGO/YUGO	DOME F110	S2R Racing	1'37.570	136.628	17/29	4.801

クラス区分 : I=インデペンデントカップ

参加台数 : 31台 出走台数 : 31台



FIA-F4専有
OTG F4トレーニング②

スタート時間 : 11:15:00
チェック時間 : 12:30:03
岡山国際サーキット 3.703km

順位	車番	区分	ドライバー	モデル	車名	タイム	Km/h	周回	トップ差
1	36		野中 誠太/S. NONAKA	DOME F110	FTRSスカラシップF4	1'32.905	143.489	26/36	
2	6		太田 裕之進/K. OHTA	DOME F110	SRS/コチラレーシング	1'32.914	143.475	4/33	0.009
3	24		平木 玲次/R. HIRAKI	DOME F110	Media DoADVIC影山F110	1'33.005	143.334	30/31	0.100
4	7		佐藤 蓮/R. SATO	DOME F110	SRS/コチラレーシング	1'33.070	143.234	8/30	0.165
5	5		三宅 淳詞/A. MIYAKE	DOME F110	HFDP/SRS/コチラレーシング	1'33.087	143.208	6/31	0.182
6	20		木村 偉織/IKIMURA	DOME F110	Silver Star Racing	1'33.157	143.100	17/29	0.252
7	63		川合 孝汰/K. KAWAII	DOME F110	DENSO ルポーセ IPG F4	1'33.181	143.064	18/32	0.276
8	62		神 晴也/S. JIN	DOME F110	DENSO ルポーセ JPM F4	1'33.338	142.823	23/33	0.433
9	60		菅波 冬悟/T. SUGANAMI	DOME F110	OTG DL F110	1'33.366	142.780	23/31	0.461
10	37		平良 響/H. TAIRA	DOME F110	FTRSスカラシップF4	1'33.379	142.760	24/35	0.474
11	9		塩津 祐介/YSHIOTSU	DOME F110	ATEAM Buzz Racing	1'33.386	142.749	6/25	0.481
12	11		石崎 竜一郎/R. ISHIZAKI	DOME F110	Rn-sports 制動屋 F110	1'33.496	142.582	8/33	0.591
13	77		大井 偉史/T. OHI	DOME F110	WARWTECH SkillSpeed	1'33.618	142.396	22/33	0.713
14	39		岡本 大地/D. OKAMOTO	DOME F110	SUCCESS RACING F4	1'33.778	142.153	25/28	0.873
15	30	I 1	DRAGON/DRAGON	DOME F110	TEAM DRAGON F4	1'33.850	142.044	19/33	0.945
16	25		堀尾 風允/F. HORIO	DOME F110	SAMURAIサポーターズ F4	1'33.888	141.986	37/38	0.983
17	98	I 2	IKARI/IKARI	DOME F110	TOEI BJRacing F110	1'33.899	141.970	26/34	0.994
18	10	I 3	堀田 誠/M. HOTTA	DOME F110	アドヴィックススムータレーシング	1'34.003	141.812	28/35	1.098
19	31		三枝 拓己/T. SAIGUSA	DOME F110	RiNoA Racing project	1'34.128	141.624	18/34	1.223
20	16		渡辺 大祐/D. WATANABE	DOME F110	Media DoADVIC影山F110	1'34.347	141.295	27/32	1.442
21	2	I 4	仲尾 恵史/K. NAKAO	DOME F110	TCS Racing Team	1'34.368	141.264	8/29	1.463
22	73		塙 嗣佑/S. HANAWA	DOME F110	カローラ新築城レオンキッズレーシング	1'34.615	140.895	26/32	1.710
23	3	I 5	佐藤セルゲイビッチ/S. SATO	DOME F110	結婚の学校 フィールドモータースポーツ	1'34.738	140.712	5/19	1.833
24	40		フジフーン ティラウエート/T. PUMP1800K	DOME F110	SUCCESS RACING F4	1'35.073	140.216	29/33	2.168
25	28	I 6	齋藤 真紀雄/M. SAITO	DOME F110	CS Marketing ES	1'35.098	140.180	33/33	2.193
26	86	I 7	大阪 八郎/H. OSAKA	DOME F110	COLLET F110	1'35.168	140.076	23/29	2.263
27	43	I 8	吉田 基良/M. YOSHIDA	DOME F110	ZAP SPEED F110	1'35.297	139.887	28/32	2.392
28	27	I 9	SYUJI/SYUJI	DOME F110	B-MAX ENGINEERING F4	1'35.905	139.000	23/33	3.000
29	71	I 10	大山 正芳/M. OYAMA	DOME F110	ダイワフ通商/NAGISA AUTO	1'36.241	138.515	9/32	3.336
30	23	I 11	YUGO/YUGO	DOME F110	S2R Racing	1'37.210	137.134	19/25	4.305
80			大竹 将光/M. OHTAKE	DOME F110	OTG DL F4CHALLENGE	出走せず			

区分: I=インイベント参加

参加台数: 31台 出走台数: 30台



№ 7



2019

OKAYAMA GT300KM RACE
FIA-F4 第1戦

決勝 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット、FIA「クラブ」、株式会社GTアソシエーション
2019.04.13 発表 16:01 天候：曇り

スタート時間：13:43:44
フィナーレ時間：14:07:15
岡山国際サーキット 3.703km

順位	車番	区分	順	ドライバー	モデル	車名	周回	所要時間	km/h	トップ差	ベスト1周回	
1	7			佐藤 蓮/R. SATO	DOME F110	SRS/コチラレーシング	15	23'31.835	141.633		1'33.336	9
2	36			野中 誠太/S. NONAKA	DOME F110	FTRSスカラシップF4	15	23'32.778	141.538	0.943	1'33.436	7
3	60			菅波 冬悟/T. SUGANAMI	DOME F110	OTG DL F110	15	23'36.838	141.133	5.003	1'33.572	9
4	37			平良 響/H. TAIRA	DOME F110	FTRSスカラシップF4	15	23'38.006	141.016	6.171	1'33.725	9
5	24			平木 玲次/R. HIRAKI	DOME F110	Media DoADVICS影山F110	15	23'40.498	140.769	8.663	1'33.784	8
6	39			西本 大地/D. OKAMOTO	DOME F110	SACCESS RACING F4	15	23'41.933	140.627	10.098	1'33.857	8
7	20			木村 信織/I. KIMURA	DOME F110	Silver Star Racing	15	23'43.134	140.508	11.299	1'33.944	9
8	9			塩澤 佑介/Y. SHIOTSU	DOME F110	ATCOM BUZZ RACING	15	23'46.880	140.159	15.001	1'34.150	8
9	77			大井 傳史/T. OHI	DOME F110	WARMTECH SkillSpeed	15	23'47.406	140.088	15.571	1'34.048	13
10	80			大竹 将光/H. OHTAKE	DOME F110	OTG DL F4CHALLENGE	15	23'49.614	139.871	17.779	1'34.073	9
11	30	I	1	DRAGON/DRAGON	DOME F110	TEAM DRAGON F4	15	23'58.655	138.992	26.820	1'34.494	9
12	3	I	2	佐藤セルゲイビッチ/S. SATO	DOME F110	結婚の学校 フィールドモータースポーツ	15	23'59.908	138.871	28.073	1'34.838	9
13	25			堀尾 風允/F. HORIO	DOME F110	SAMURAIサボーターズ F4	15	24'00.184	138.845	28.349	1'34.515	8
14	● 5			三宅 淳嗣/A. MIYAKE	DOME F110	HFD/ SRS/コチラレーシング	15	24'07.575	138.136	35.740	1'33.355	8
15	40			フジグラン ナイフウェット/T. FUJIBRON	DOME F110	SACCESS RACING F4	15	24'10.299	137.876	38.464	1'35.178	9
16	73			境 爾佑/S. HANANA	DOME F110	カロラ新築城レオンキッズレーシング	15	24'10.765	137.832	38.930	1'34.869	12
17	31			三枝 拓己/T. SAIGUSA	DOME F110	RiNoA Racing project	15	24'11.167	137.794	39.332	1'34.766	13
18	10	I	3	堀田 誠/M. HOTTA	DOME F110	アドヴィックススマートレーシング	15	24'11.528	137.760	39.693	1'34.805	13
19	98	I	4	IKARI/IKARI	DOME F110	TOEI BJRacing F110	15	24'18.070	137.142	46.235	1'35.109	13
20	63			川合 孝汰/K. KAWAII	DOME F110	DENSO ルポーセ 1PG F4	15	24'27.046	136.302	55.211	1'33.897	11
21	43	I	5	吉田 基良/M. YOSHIDA	DOME F110	ZAP SPEED F110	15	24'35.216	135.548	1'03.381	1'36.148	13
22	71	I	6	大山 正秀/M. OYAMA	DOME F110	ダイワ通商/NAGISA AUTO	15	24'44.034	134.742	1'12.199	1'36.768	12
23	28	I	7	齋藤 真紀雄/M. SAITO	DOME F110	CS Marketing ES	15	24'47.795	134.402	1'15.960	1'36.012	11
24	86	I	8	大阪 八郎/H. OSAKA	DOME F110	COLLET F110	15	24'54.586	133.791	1'22.751	1'36.296	9
25	23	I	9	YUGO/YUGO	DOME F110	S2R Racing	14	24'59.852	133.321	1'28.017	1'37.954	5
26	27	I	10	SYUJI/SYUJI	DOME F110	B-MAX ENGINEERING F4	14	23'05.399	134.713	1 Lap	1'36.643	13
27	2	I	11	仲尾 恵史/K. NAKAO	DOME F110	TCS Racing Team	14	24'33.472	126.661	1 Lap	1'34.948	9
28	▲ 11			石崎 竜一郎/R. ISHIZAKI	DOME F110	Rn-sports 制動屋 F110	13	24'31.572	117.765	2 Laps	1'34.239	12
----- 以上完走 -----												
	6			太田 格之進/K. OHTA	DOME F110	SRS/コチラレーシング	3	4'48.197	138.768	12 Laps	1'33.900	3
	62			神 晴也/S. JIN	DOME F110	DENSO ルポーセ JPM F4	2	3'19.843	133.413	13 Laps	1'34.448	2
	16			渡辺 大祐/D. WATANABE	DOME F110	Media DoADVICS影山F110	1	1'51.979	119.047	14 Laps	1'51.979	1

区分：I=インディペンデントカテゴリー

● 2'のカンNo. 5は、2019 FIA-F4 SpR 第15条1. (危険なドライブ行為)により、ドライブスローペナルティを科した。(13:58)

▲ 2'のカンNo. 11は、2019 FIA-F4 SpR 第15条1. (危険なドライブ行為)により、決勝結果に40秒(ドライブスローペナルティ相当)を加算した。(14:47)

参加台数：31台 出走台数：31台

ベストラップ： 7 佐藤 蓮/R. SATO 1'33.336 9/15 142.826km/h

審査委員長

柘植和彦

大会競技長

前澤伊織

計時委員長

計時委員長



NO 10



OKAYAMA GT300KM RACE
FIA-F4 第2戦

決勝 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット、株式会社GT777/エイション
2019.04.14 発表 10:49 天候：曇り コース状況：ドライ 岡山国際サーキット 3.703km

スタート時間：8:31:45
チェック時間：8:57:37

順位	車番	区分	ドライバー	モデル	車名	周回	所要時間	km/h	トップ差	ベスト1周回
1	5		三宅 淳嗣/A. MIYAKE	DOME F110	HFDP/SRS/コチラレーシング	14	25'52.097	120.245		1'33.320 13
2	60		菅波 冬悟/T. SUGANAMI	DOME F110	DTG DL F110	14	25'52.734	120.195	0.637	1'33.428 10
3	36		野中 誠木/S. NONAKA	DOME F110	FTRSスカラシップF4	14	25'53.296	120.152	1.199	1'33.040 12
4	20		木村 偉輔/I. KIMURA	DOME F110	Silver Star Racing	14	25'56.910	119.873	4.813	1'33.595 12
5	63		川合 孝法/K. KAWAII	DOME F110	DENSU ルノーセ IPG F4	14	25'57.199	119.851	5.102	1'33.479 12
6	39		岡本 大地/D. OKAMOTO	DOME F110	SUCCESS RACING F4	14	25'57.520	119.826	5.423	1'33.656 11
7	24		平本 玲次/R. HIRAKI	DOME F110	Media DoADVICS影山F110	14	25'58.038	119.786	5.941	1'33.561 13
8	37		平良 響/H. TAIRA	DOME F110	FTRSスカラシップF4	14	25'59.607	119.666	7.510	1'33.514 11
9	9		塩津 佑介/Y. SHIOTSU	DOME F110	ATEAM Buzz Racing	14	26'03.747	119.349	11.650	1'33.867 12
10	77		大井 博史/T. OHI	DOME F110	WARITECH SkillsSpeed	14	26'04.365	119.302	12.268	1'33.855 12
11	80		大竹 将光/M. OHTAKE	DOME F110	DTG DL F4CHALLENGE	14	26'04.626	119.282	12.529	1'33.828 12
12	11		石崎 竜一朗/R. ISHIZAKI	DOME F110	Rn-sports 制動屋 F110	14	26'04.941	119.258	12.844	1'33.620 12
13	2	I 1	仲尾 恵史/H. NAKAO	DOME F110	TCS Racing Team	14	26'12.984	118.648	20.887	1'34.221 13
14	30	I 2	DRAGON/DRAGON	DOME F110	TEAM DRAGON F4	14	26'13.612	118.601	21.515	1'34.141 12
15	3	I 3	佐藤セルゲイ ビッチ/S. SATO	DOME F110	精進の学校 フィールドモータースポーツ	14	26'16.028	118.419	23.931	1'34.392 11
16	40		フジブーン ティラフエート/I. FUJIBOON	DOME F110	SUCCESS RACING F4	14	26'20.914	118.053	28.817	1'34.875 11
17	98	I 4	IKARI/IKARI	DOME F110	TOEI BJ Racing F110	14	26'22.802	117.912	30.705	1'34.613 13
18	43	I 5	吉田 基良/M. YOSHIDA	DOME F110	ZAP SPEED F110	14	26'27.213	117.584	35.116	1'35.609 10
19	86	I 6	大坂 八郎/H. OSAKA	DOME F110	COLLET F110	14	26'29.209	117.437	37.112	1'35.494 14
20	● 7		佐藤 蓮/R. SATO	DOME F110	SRS/コチラレーシング	14	26'33.822	117.097	41.725	1'32.915 13
21	10	I 7	堀田 誠/M. HOTTA	DOME F110	アドヴィックスムータレーシング	14	26'34.075	117.078	41.978	1'34.723 13
22	71	I 8	大山 正秀/M. OYAMA	DOME F110	ダイフン通商/NAGISA AUTO	14	26'40.420	116.614	48.323	1'36.918 13
23	31		三枝 拓巳/T. SAIGUSA	DOME F110	RINOA Racing project	14	26'41.110	116.564	49.013	1'36.862 13
24	● 25		堀尾 風允/F. HORIO	DOME F110	SAMURAIサポーターズ F4	14	26'41.298	116.550	49.201	1'34.273 3
25	27	I 9	SYUJI/SYUJI	DOME F110	B-MAX ENGINEERING F4	14	26'42.800	116.441	50.703	1'37.289 12
26	23	I 10	YUGO/YUGO	DOME F110	S2R Racing	14	26'50.132	115.910	58.035	1'37.068 13
27	73		橋 綱佑/S. HANAWA	DOME F110	カララ新築城レオンキッズレーシング	14	26'51.004	115.848	58.907	1'34.579 12
----- 以上完走 -----										
16			渡辺 大祐/D. WATANABE	DOME F110	Media DoADVICS影山F110	3	4'58.879	133.808	11 Laps	1'35.080 3
6			太田 格之進/K. OHTA	DOME F110	SRS/コチラレーシング	3	4'58.964	133.770	11 Laps	1'34.074 3
28	1		齋藤 真紀雄/M. SAITO	DOME F110	CS Marketing ES	0			14 Laps	

2019 FIA-F4 SpR 第30条10. (スタートイレイト)により1周減算の14周回にて行なった。
本決勝レースは、4周目にSC導入し8周目に離脱した。

区分：I=インディペンデントかつ

●セッケンNo. 7、No. 25は、2019 FIA-F4 SpR 第30条7. (スタート違反)により、ドライバーへのペナルティを科した。(8:47)

参加台数：31台 出走台数：30台

ベストラップ：7 佐藤 蓮/R. SATO 1'32.915 13/14 143.473km/h

審査委員長

柘植和慶

大会競技長

前澤 伊織

計時委員長

計時委員長

